



GLASS LEWIS

ESG／サステナビリティ経営の監督機能における 監査役等に期待される役割

グラスルイスジャパン合同会社
アジアリサーチ ヴァイスプレジデント 上野 直子

2022年9月15日

目次

はじめに

グラス・ルイスのご紹介

ESG／サステナビリティ経営はなぜ注目されるのか

海外における監査委員会の役割

日本の監査役等に期待される役割

監査役等が期待される役割を果たすために

グラス・ルイスのご紹介

活動拠点と概要

クライアント：1,300以上の機関投資家（世界有数の年金基金、投資信託、資産運用会社）



- クライアントの運用資産合計：40兆米ドル
- 従業員数：450人以上
- リサーチ実績：年間100以上の市場で開催される30,000件以上の株主総会議案に対するリサーチ
- エンゲージメント数：年間1,600以上のエンゲージメントを実施
- リサーチ対象市場数：100以上の市場

Signatory



Organizational Member



Founding Member & Signatory



Member



Registrations



ESG／サステナビリティ経営 はなぜ注目されるのか

ESGを取巻く状況

投資家

- 気候変動などの環境問題や人種・ジェンダーの不公正・不平等などの社会問題は、資本コスト、長期的な成長の展望、そして最終的な企業の存続への影響を与える可能性があるため、投資家は注目している
- 環境・社会・ガバナンス（ESG）問題に関する議論において、企業の取組内容や状況に関する開示内容の向上を求める機関投資家は増加している

規制・ガイドライン

- ガバナンスコードは、2022年4月の東証再編後にプライム市場の上場企業に対し、気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）またはそれと同等の国際的枠組みに基づく気候変動開示の充実を求める
- 有価証券報告書におけるサステナビリティに関する開示を求める動きの活発化
- TCFDを基にしたさらなる開示要項であるISSBによるIFRSサステナビリティ開示基準

7

ESGにおける「G」の重要性

ESGへの注目

- 不透明な市場状況（ロシア・ウクライナ情勢、コロナウィルス感染拡大等）により、長期的な企業戦略と環境・社会との相互関係に注目が集まる
- 企業そして投資家が、環境・社会・ガバナンス（ESG）戦略や課題に取り組むことで、企業の目的や長期的な持続可能性を推進することを再認識

Gの重要性

- 「E」と「S」のリスクや機会に注目が集まるなか「G」の重要性が放置されがちになる状況に懸念
- 「G」は企業の説明責任と信頼性の基盤となる意思決定権の構造を定義する重要な項目
- 「G」の基盤が不十分であると「E」や「S」のリスクが高まり企業価値に影響を与える状況に陥る可能性または、「E」や「S」に関連した問題に直面した際の的確で敏速な対応が遅れ、企業価値に大きな影響を与える状況に陥る可能性が高まる
- フォルクスワーゲン：排ガス不正
- タカタ：エアバッグ問題
- ジョンソン・エンド・ジョンソン：ベビーパウダー問題

8

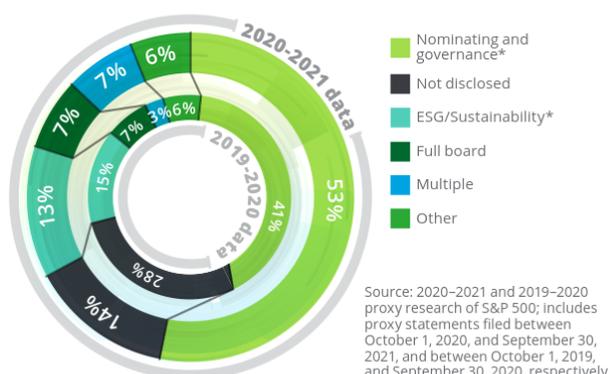
海外における監査委員会の役割

米国におけるESGの監督機能

- ESGは戦略、リスク、機会に組込まれる項目であるため、企業の将来的な方向性の舵取りをする取締役会は重要な役割を担う
- しかし、ESGは幅広いテーマのため、海外では特定の委員会に監督を委ねることを推奨されている

【ESGの監督機能 — S&P 500 Companies】

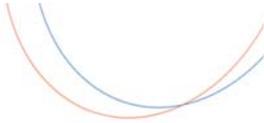
Figure 3. ESG oversight on the board and board committees in 2020-2021 and 2019-2020 for S&P 500 companies



米国では、取締役会全体でESGの監督機能を果たすというよりは、特定の委員会に監督を委ねる方向に向かっていることが日本との大きな違いである。

(出典 : Deloitte. "Navigating the ESG journey in 2022 and beyond", Center For Board Effectiveness. January 2022, p. 3.)

監査委員会の役割 - 伝達者

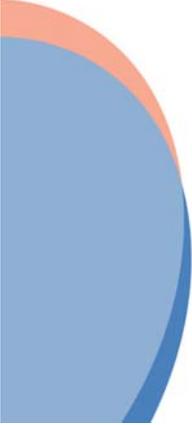


監査委員会は、ESG開示のプロセスのなかで重要な役割を担っている

監査委員会の論点となる項目例

- 企業におけるESGリスクがどのように特定され優先順位が付けられ、どのように開示の目的や取組に役立つか
- 開示するESG指標を特定する際のマテリアリティの定義、企業のESGの取組を伝えるために使用するフレームワーク、関連する指標に関する内部統制、それらの指標を企業のウェブサイトに掲載する方法及び／又は開示する方法（例：個別のサステナビリティ報告書・法定開示書類等）
- 経営陣が使用する測定基準やその他のESG開示の策定に使用している方法や方針の健全性

監査委員会にはESG項目を定例の議題とし、会社の開示プロセスを理解し、その進捗、リスク管理、財務諸表への影響、事業戦略へのESGリスク・機会の組込状況を定期的に評価することが期待されている



日本の監査役等に期待される役割

自社の実状を知る重要性



- コンプライアンス重視
- 限定的な取締役会による監督
- ESG関連の責任部署が重要な経営体制の外に設置されている
- ESG項目が事業計画に取り込まれていない。規制やコンプライアンスに依存
- 開示基準に則らず、限定的な開示にとどまる
- アシュアランス（保証）を得ていない

- パフォーマンス重視
- 取締役会と執行側から定期的に報告を受ける
- 各部門と連携を取るESG委員会を設置
- サステナビリティの個別戦略；低コストで短期的な利益追求
- 正式なESG重要性決定プロセス；企業のリスクとの整合性の検討
- 一般に認められた基準に沿った、またはそれによるESG報告基準
- 一部の開示項目については、プロセス、統制、文書化が存在するが、すべてではない
- 内部監査では、ESGのガバナンス、プロセス、コントロール、データを随時検証を実施。
- 限定的な保証を得る
- 投資家および評価者との必要に応じたエンゲージメント

- 価値創造
- 取締役会（特定の委員会を含む）におけるESGに関する定期的な議論
- ESGを経営陣の役割と責務に統合し、役員報酬をESGパフォーマンスと連動させる
- 単体の戦略ではなく、ESGと一体となったビジネス戦略
- ESGリスクが、他のビジネスリスクと同様に、企業のリスクマネジメントの枠組みに十分に組み込まれている
- 業界の標準に従って作成され、提出書類に含まれるESGの情報開示
- 内部監査計画に、ESGガバナンス、工程、管理、およびデータの年次評価を盛り込む
- 外部の財務諸表監査人から合理的な保証を得ている
- ESGを投資家および評価者の活動に組み入れる

(出典：Deloitte. “Navigating the ESG journey in 2022 and beyond”, Center For Board Effectiveness. January 2022, p. 2.)

13

ESG開示における監査役会等の役割

- ESG開示がより重要になるなか、監査委員会は、投資家が求めるレベルのESG開示の実現に重要な役割を担っている
- 監査委員会の財務報告に関する専門知識は、経営側が選定したESG指標や、その他のESG開示に採用している方針の健全性を理解し評価することに活用できる
- 監査員会が中心となってESG開示情報の正確性や健全性の評価をすることで、投資家の企業に対する信頼性が向上する
- 監査役等は、必要に応じて、ESGの監督機能等、適切なトレーニングを受けべきである

14

監督機能におけるリーダーシップ

監査役会等がESGを監督するための枠組み

開示

- 投資家が求めるESGの開示のレベル（定性・定量ともに）
- ESG開示基準

プロセスと管理体制

- ESG関連の開示内容の正確性、比較可能性、一貫性を確保するためのプロセスと管理体制

信頼性の保証

- ESGの開示内容の信頼性を確保するためのプロセス（例：独立した監査法人等から非財務情報のアシュアランスを得る）
- 運営状況を客観的に評価する検査プロセス

15

監査役等の役割—ESG情報開示

ESG指標項目

- 経営陣が特定したESGリスクと機会

ESG開示基準

- 経営陣が特定したフレームワークや基準とその当区亭方法

ESG開示内容の種類

- 投資家が求めているESG情報
- 経営陣の対応計画

規制への対応状況

- 開示要求項目の増加に対する、経営陣の準備体制

16

監査役等の役割ープロセスと管理体制

情報・データ

- 収集方法

管理体制

- ESG情報の信頼性と完全性を確保するための管理体制

リソース

- 新たな開示基準への対応や新体制等を導入する際のリソース

開示

- 開示担当部署との十分な連携

内部監査

- 内部監査のプロセスと結果と提言内容

17

監査役等の役割ーアシュアランス（保証）

アシュアランス（保証）

- 投資家等からのESG情報に関するアシュアランスの要望の有無
- どの程度のアシュアランスが求められているのか等

信頼性の確保

- 信頼性を確保するため、経営陣はESG開示情報に対するアシュアランスの必要性を考慮したか等

新たな開示要件

- 新たな開示要件に対する開示内容の信頼性確保への対応状況

18

監査役等の役割—財務諸表への影響

影響に対する検討状況

- ESGへのコミットメントがどのように財務諸表に影響するか等

説明

- 今後の収益予想や必要投資に関する説明がされているか等

対応状況

- 今後予想される規制変更等に対する対応計画内容

計画内容

- サステナビリティ関連の投資から得られる予想収益等の計画内容

変更内容に関する検討状況

- ESGにコミットメントすることによる既存の事業計画の変更の有無等

19

検討項目例—気候変動

開示

- 投資家が求める気候変動に対する開示の有無（TCFD等）

プロセスと管理体制

- 気候変動に対する開示範囲、指標、数値目標、進捗の開示内容の正確性、比較可能性、一貫性を確保するためのプロセスと管理体制

信頼性の保証

- 気候変動関連の開示内容の信頼性を確保するためのプロセス（例：独立した監査法人等からのアシュアランスを得る）
- 運営状況を客観的に評価する検査プロセス

20

監査役等が期待される 役割を果たすために

監査役等の活動を充実させるために

情報収集・共有

- 日本国内・グローバルなトレンドの情報収集・共有

エンゲージメント

- 社内の他部署との連携
- 投資家とのエンゲージメント

トレーニング

- 各監査役等の見識・経験などに合わせたトレーニング

情報発信

- 監査役等の役割
- 監査役等の活動状況

まとめ

監査役等をサポートするみなさまへ

- ESG開示基準は、統一性のあるグローバルな開示基準が制定されると予想される
- ESG開示基準が成熟するほど、各企業のESG開示情報の信頼性が重要となり、内部監査の役割はさらに重要となる
- ESG戦略を進めていくなかで、監査委員会の財務の監督に関する知見を非財務情報の監督機能へ活用することで、企業のESG対応の強化につながる



お問合せ先

Institutional Investors | GROW@glasslewis.com

Public Companies | ENGAGE@glasslewis.com

Corporate Website | Glasslewis.com

Email | Info@glasslewis.com

Social | [@glasslewis](https://twitter.com/glasslewis)

[in](https://www.linkedin.com/company/glass-lewis-co) [Glass, Lewis & Co.](https://www.linkedin.com/company/glass-lewis-co)